

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月11日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3771600636
法人名	有限会社新名防災設備
事業所名	グループホーム青い鳥
所在地	香川県仲多度郡多度津町葛原451-1 (電話) 0877-32-0037

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年7月12日	評価決定日	平成19年10月11日

## 【情報提供票より】(19年6月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 9月 16日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	20人 常勤 13人、非常勤 7人、常勤換算 14.4人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての1階～2階部分
------	----------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500円	その他の経費(月額)	20,460円+実費	
敷金	有( )円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	210円	昼食	525円
	夕食	525円	おやつ	105円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(7月12日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.9歳	最低	74歳	最高	90歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡部医院(内科・外科) たかぎ歯科医院
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

青々とした田畑に囲まれ静かな環境に恵まれた、グループホーム青い鳥は、鉄骨2階建ての建物で、ホールは広々として明るく、座り心地のよいソファーが置かれ、入居者の方々はゆったりとくつろいで過ごしている。10月には隣接して、小規模多機能型居宅介護事業が開設される予定で、「地域住民に親しまれ、楽しく集う拠点にしたい」と語る若い事務長の熱意が感じられる。また、介護の資質をさらに向上して、入居者や家族の方々に満足していただけるよう対応したいと職員も前向きである。介護体制を充実し、地域に密着した介護サービスが提供されることを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価での改善点である運営理念の啓発・地域の人達との交流の促進については、地域住民との交流を図り、ホームの存在と役割を認識してもらえるように努めている。また、入居者のペースの尊重については、散歩や買い物、毎月1回は外食に出かける取り組みや、入居者のペースに合わせた入浴や食事等の支援をしている。緊急時の手当については、緊急時のマニュアル作成や、夜間は看護師による勤務体制が整備されている。
重点項目②	① 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を基に、介護サービスの資質の向上に前向きに取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	活動内容や入居者の状態等を報告し、ホームを理解してもらえるように努め、地域に密着した支援サービスが展開されるように取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議に家族の参加を要請し、意見を反映できるように取り組んでいる。ホーム内に「ふれあいボックス」を設置し、家族の面会の機会に、状況報告と意見を聞くようにしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開設して2年目を迎えたが、地域との連携には課題が残っている。地域の行事への参加や交流会を開催する等、前向きな取り組みが望まれる。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み馴れた地域で、「安心と尊厳」、「その人らしい日常生活」を運営方針に、事業主と介護従事者は認識し、日々介護サービスに努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼時に全職員が復唱し、実践に取り組んでいる。	○	「青い鳥」独自の親しみやすい言葉に具体化して作成し、入居者と共有し、実践に取り組むことが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩で出会った時などは挨拶し、言葉を交すなど、交流を図るように努めている	○	自治会や婦人会・老人会等の協力を得ながら、地域の行事に参加する等、積極的に取り組んでいくことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	事業主、職員は、評価の意義を十分に理解しており、前回の外部評価を具体的に模索して、改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町の担当者や利用者の家族、地区老人会会長等に参加要請して、会議を実施し、ホームでの活動を報告し、理解を得るようにしている。	○	今後も定期的に運営推進会議を開催し、意見交換して、地域に密着した支援サービスに活かすことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町の担当者と、常時連絡を取り合っており、サービスに継げるようにしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪は比較的多く、必ず、利用者の日常生活を報告するようにしている。また、健康状態等の変化があった時は、逐次、電話で報告するようにしている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「ふれあいボックス」を設置し、家族の意見や苦情相談に対応できるように取り組んでいる。また、運営推進会議に出席してもらい、運営に活かすようにしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1階、2階の職員は食事の準備など、常時協力して業務に当たっており、離職者が極力ないように努めている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業主は、資格習得や外部研修等、スキルアップに応援している。</p>	○	<p>定期的にミーティングを実施し、全職員のケアサービスの資質向上に取り組むことが望まれる。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業主は、同業者との交流の機会はよくある。</p>	○	<p>職員も同業者間で交流する機会を持ち、日常の業務に活かしていくことが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	可能な範囲で、入居前にホームに来ていただき、おやつ時間を共にしてもらっている。また、入居当初は、入居者の傍について支援するようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の状態によって、声かけし、家事等を手伝ってもらい、職員と共に過ごすようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活暦や日常生活の会話から、利用者本人の希望や意向を把握し、暮らしに反映するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は、利用者の日常生活の状況から、個別の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月毎ごとに介護計画の見直しを行っているが、状態に変化があった時は、現状に合った計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	重度化しても医療機関と連携をとって、本人や家族の要望に沿った支援するように努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が、要望する医療を受診している。常時、協力医療機関と連携し、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族や医療機関と十分に話し合っ、状況によっては、重度化した入居者を支援している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	食事介護やトイレ誘導など、個々のプライバシーを損ねないように声かけして対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の摂取時間など、個々の行動のペースに合わせるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者に好みのメニューや、季節の果物等を楽しみながら食事をしている。準備や片づけ等、できる範囲で手伝ってもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	木製の浴槽や座った状態で入れる特浴があり、希望の曜日に合わせて入浴支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴や趣味、日常生活の会話の中から、その人らしい楽しみや役割を見つけて、生きがいに繋げるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺を散歩したり、個別に買い物や墓参り等、家族の協力を得て、外出支援をしている。定期的に外食に出かけることを、入居者は楽しみにされている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを設置している。入居者の気配により、一緒に出かける等の配慮をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	建物の外周りにベランダを設置しており、災害時に備えて、避難訓練を実施している。	○	地域の住民にも協力を得て、消防署と連携し、災害対策に取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病や嚥下が困難な方には、個別に配慮して対応している。摂取量や水分補給には、十分に配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物の中央に中庭があり、ホールや廊下は、ゆったりとした共用の空間で、座り心地の良いソファが置かれ、景色を眺めながらゆっくりとくつろぐことができる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者に使い慣れた家具や生活用品を持ってきてもらったり、写真や手作りの作品を飾るなど、個々に安心して過ごせるように工夫している。		